

Title	奥野信太郎先生著作目録初稿
Sub Title	Bibliography of professor Shintaro Okuno
Author	丸山, 信(Maruyama, Shin)
Publisher	慶應義塾中国文学会
Publication year	2019
Jtitle	慶應義塾中国文学会報 (Bulletin of The Keio Sinological Society). No.3 (2019. ) ,p.83- 94
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	奥野信太郎先生没後五十年記念特集号 特別寄稿
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA12810295-20190329-0083">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA12810295-20190329-0083</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 奥野信太郎先生著作目録初稿

## 著書

『随筆北京』

第一書房

昭和十五年

『北京襟記』

東和社

昭和二十六年再版

『日時計のある風景』

二月書房

昭和十九年四月

『幻亭雜記』

文芸春秋新社

昭和二十二年七月

『随筆東京』

世界文庫

昭和二十二年十二月

『北京留学』

東和社

昭和二十六年十月

『石榴の庭』

読売新聞社

昭和二十七年十二月

『こんにゃく横丁』

筑摩書房

昭和二十七年十二月

『龍の横顔』

文芸春秋新社

昭和二十八年七月

『花寂しくして』

要書房

昭和二十九年一月

『亭主の月給袋』

河出書房

昭和三十年十月

『文学みちしるべ』

新潮社

昭和三十一年二月

『かじけ猫』

新潮社

昭和三十一年十二月

『藝文おりおり草』

章文社

昭和三十三年七月

『奥野信太郎集』(現代知性全集 第七卷)

春秋社

昭和三十三年五月

『はるかな女たち―女妖啼笑―』

日本書房

昭和三十三年十一月

『はるかな女たち―女妖啼笑―』

講談社

昭和三十四年十一月

『浮世くずかご』

『紅豆集』

『はるかな女たち―女妖啼笑―』(ミリオン・ブックス)

『中国艶ばなし』(ポケット文春)

『おもちゃの風景』

『現代交際論』(オリオン・ブックス)

『町恋いの記』

『詠物女情』

『中国文学十二話』

翻訳

『女流作家集』(現代支那文学全集 第九卷)

『随筆集』(現代支那文学全集 第十卷)

老舍『ちやお・つう・ゆえ』(現代世界文学叢書9)

茅盾『霜葉は二月の花より紅く』

(世界文学大系 六十二 鲁迅・茅盾編)

『世界逸話全集』4 中国篇

『本事詩』他(世界短編文学全集 十五 中国文学)

編集・監修

『ほくろの位置について―世界艶笑譚―』

講談社

桃源社

講談社

文芸春秋新社

三月書房

オリオン出版社

三月書房

新潮社

日本放送協会

昭和三十五年七月

昭和三十七年十二月

昭和三十八年二月

昭和三十八年二月

昭和三十九年四月

昭和四十二年五月

昭和四十二年八月

昭和四十三年二月

昭和四十三年八月

東成社

東成社

中央公論社

筑摩書房

筑摩書房

東京創元社

集英社

昭和十五年六月(所収)

昭和十五年八月(所収)

昭和十六年

昭和二十七年八月再版

昭和三十三年七月

昭和三十四年七月

昭和三十八年六月

六興出版社

昭和二十八年

『三田にひらめく三色旗』

『新十八史略物語』全十六卷

『中国故事物語』

『女』

『酒』

『東京味覚地図』

『中国古典文学全集』全三十三卷

『自己を生かす交際』

『奇策縦横戦国策物語』

『中国文学』（世界短編文学全集 十五）

『中国名言集』

『東京うまい店二〇〇店』

『酒呑み物語』

『恋酒歌仙 酒の飲み方くどき方』

『東京横浜うまい店二〇〇店』

『中国名言物語』

『式辞挨拶の事典』

『デュエツト版 世界文学全集』全六十六卷

児童文学

『福澤諭吉』

『東洋篇Ⅰ』（世界少年少女文学全集 二十二）

鱒書房

河出書房

河出書房

春陽堂書店

春陽堂書店

河出書房新社

平凡社

ダイヤモンド社

人物往来社

集英社

河出書房

柴田書店

柴田書店

墨水書房

柴田書店

河出書房

集英社

集英社

昭和三十年三月

昭和三十一年三月

昭和三十一年十一月

昭和三十三年七月

昭和三十三年

昭和三十三年九月

昭和三十三年三月

昭和三十三年四月

昭和三十三年七月

昭和三十三年十月

昭和三十三年六月

昭和三十三年九月

昭和三十三年九月

昭和三十三年三月

昭和三十三年七月

昭和三十三年七月

昭和三十三年一月

昭和三十三年六月

金子書房

河出書房新社

昭和三十年

昭和三十三年五月

『唐代小説集』『三国志』

(中国文学名作全集全十巻のうち翻訳担当。同全集監修)

盛光社

昭和四十二年三月

『水滸伝』

主婦之友版・講談社版

慶應義塾関係雑誌発表目録

「三田文学」所収

森先生と支那文学

大正十一年八月

王次回と其作品

大正十一年九月

支那文学の一考察

大正十二年二月

夢冷館随筆

大正十三年八月

雪姑雜録

大正十四年二月

九章に就いて

昭和二年二月

ひとつの清福

昭和九年九月

北京だより

昭和十一年十月

小説 松子(訳) 丁玲女子作

昭和十二年十月

陸素娟のこと

昭和十三年

燕京小吃記

昭和十四年一月

大久保のころ(青柳瑞穂)

昭和二十四年十月

雪夜(詩)

昭和二十四年十二月

小説美女と錬金術(訳)

昭和二十六年五月

相聞(歌)

昭和二十六年五月

與謝野晶子論

昭和二十六年八月

北京にて（折口先生のこと）

什刹海附近

魯迅故宅記

名刺なき中国

京劇雜感

義父

永井壮吉教授

命拾い

精進料理

「三田評論」所収

殷汝耕と語る

北平通信

擾乱の北平より

北京籠城二週間

画鶴山房獨影暗し

橋本左内と魯迅

緑蔭閑話（対談）

「雲の峰」によせて

「慶應義塾創立百年記念論文集く文学」所収

中国演劇の発想について

昭和二十八年十一月

昭和三十年一月

昭和三十年十月

昭和三十一年一月

昭和三十二年一月

昭和三十二年六月

昭和三十二年六月

昭和三十六年一月

昭和四十二年一月

昭和十一年十月

昭和十二年二月

昭和十二年八月

昭和十二年九月

昭和十四年八月

昭和十五年七月

昭和四十二年八月・九月

昭和四十二年十一月

昭和三十三年十一月

「藝文研究」23号所収

佐藤朔先生還曆記念論文集・巻頭言  
淡路町時代

昭和四十二年二月  
昭和四十二年二月

「史学」所収

真福寺本遊仙窟考勘記

第十四卷四号

「塾」所収

父兄のみた塾と塾生（座談会）

六号

昭和四十二年十二月

「三田新聞」所収

燕京書肆記

一八九・一九〇号

昭和二年二月・三月

表紙の説

一九八号

昭和二年六月

国漢の答案は簡単に作文は脱線せぬやう

二〇九号

昭和三年三月

桃花扇おぼえ帳

二二五号

昭和三年十一月

車塵集を薦めることば

二四五号

昭和五年一月

「景星」の著者を語る

二六七号

昭和六年六月

「新文明」所収

浴泉の記

昭和二十七年三月

中国の今昔を語る（座談会）

昭和三十年一月・二月

今月の話題（座談会）

昭和三十三年三月

## 学術論文

「福井博士頌寿記念東洋思想論集」

李賀雜考

昭和三十五年十一月

「歴史教育」所収

遊仙窟訓読の伝説について

昭和二十九年九月

「文学」所収

趙翼の杜甫論

昭和三十七年十二月

「日本中国学会報」所収

水と炎の伝承（西遊記成立の一側面）

一八号

昭和四十二年六月

## 編者 記

以上は著書と、三田関係の出版物および学術論文に限定して一応の整理を試みたものである。この範囲に限定しても、先生の著述はまことにおびただしく、なお不明のものや不確定の個所がある始末である。この作業には朝日新聞の森忠彦・慶應義塾図書館の丸山信両君の協力を得た。記して謝意を表す。

先生のジャーナリズムにおける活躍は、すこぶる多方面にわたり、その全貌を把握することは一層困難であるが、その一端だけでも示すために丸山信君の調査カードにより、昭和二十三年から雑誌に発表した文章を次に掲げる。ただし新聞・週刊誌・業界紙・宣伝文・書評などはこのなかに含まれていない。

尚、死の前日に「女性自身」昭和四十三年一月二十九日号掲載の「おしゃれはくりかえさない」を編集者に渡しており、絶筆として机上に残っていたのは「小説新潮」同年四月号の「のんきな時代」である。（佐藤一郎記）

## 諸雑誌に発表のもの

金瓶梅覚書

「エロス」

昭和二十三年九月



- |                         |           |             |
|-------------------------|-----------|-------------|
| 岫雲寺                     | 「桃源」      | 昭和二十三年十一月   |
| バラックと日本人                | 「玄想」      | 昭和二十三年十二月   |
| モニュメント・セリカの思出〜ゲーテと中国文学〜 | 「わだち」     | 昭和二十四年一月    |
| 中国文学と私                  | 「群像」      | 昭和二十四年四月    |
| 好色文学の芸術性と世界性            | 「評論」      | 昭和二十四年四月    |
| 新制大学号就航す                | 「教育と社会」   | 昭和二十四年五月    |
| 魯迅の文章について〜朝華夕拾を中心として〜   | 「思潮」      | 昭和二十四年五月    |
| 梅蘭芳のこと                  | 「ニューエポック」 | 昭和二十四年五月    |
| 老舎の「火葬」について             | 「個性」      | 昭和二十四年七月    |
| 中国人の童心と老成心              | 「世界報告」    | 昭和二十四年七月    |
| 季節のオルゴール                | 「教育復興」    | 昭和二十四年七月    |
| 読書について                  | 「教育と社会」   | 昭和二十五年一月    |
| 新聞王と製紙王                 | 「文芸春秋」    | 昭和二十五年二月    |
| 一見哈哈大笑                  | 「世界春秋」    | 昭和二十五年二月〜三月 |
| 容認公認美人など                | 「評論」      | 昭和二十五年四月    |
| 文豪の遺産                   | 「新潮」      | 昭和二十五年五月    |
| 今は昔の銀座の酒場               | 「文芸春秋」    | 昭和二十五年五月    |
| 東京風俗〜酒場今昔記〜             | 「読売評論」    | 昭和二十五年八月    |
| 人口楽園の薔薇〜乱世と中国人の心〜       | 「朝日評論」    | 昭和二十五年十月    |
| 東京風俗〜浅草雑記〜              | 「読売評論」    | 昭和二十五年十月    |



コミちゃんの信念  
「小説朝日話の手帳」

真珠帝国の老爺  
「文芸春秋」

北京歳暮  
「改造」

学者の喧嘩と文士の喧嘩  
「新潮」

反俗を貫く最後の文人〜永井荷風の人と作品〜

「文芸春秋別冊」

三田山上の青春  
「文芸春秋」

かたばみ座雑感  
「文芸界」

読書・購書・売書  
「学灯」

長安城の月〜魚玄機を脚色して〜  
「群像」

魚玄機（戯曲）  
「心」

初老も愉し  
「文芸春秋」

中国の鬼談  
「文学界」

よき教授永井荷風  
「新潮」

曝書  
「自警」

仙人と仙葉  
「大法輪」

道教の地獄観  
「大法輪」

春の憂鬱  
「群像」

私のヴィタ・セクスリアリス  
「文芸春秋」

一斑を以て全貌を推すなかれ〜女性は男性に優先するか〜

中国の今昔  
「世界」

新中国の売春婦をみて  
「中央公論」

昭和二十七年九月

昭和二十七年十月

昭和二十七年十二月

昭和二十八年一月

昭和二十八年一月〜三月

昭和二十八年一月〜三月

昭和二十八年四月〜六月

昭和二十八年四月〜六月

昭和二十八年四月〜六月

昭和二十八年七月〜九月

昭和二十八年七月〜九月

昭和二十八年七月〜九月

昭和二十八年七月〜九月

昭和二十八年九月

昭和二十九年一月〜三月

昭和二十九年一月〜三月

昭和二十九年一月〜三月

昭和二十九年一月〜三月

昭和二十九年四月〜六月

昭和三十年一月〜三月

昭和三十年一月〜三月



創作合評

女と雪（対談）

文士劇拝見（対談）

中国の幽霊

中国の艶笑文学

久保田万太郎先生をしのぶ（座談会）

テレビ・ラジオ（対談）

3月4月の舞台（対談）

5月6月の舞台（対談）

渋谷天外〜7・8月の舞台〜（対談）

ヨーロッパ能談義（対談）

ヨーロッパ歌舞伎談義（対談）

近代劇としての「大寺学校」

「群像」

「芸能」

「芸能」

「世界」

「国文学」

「芸能」

「芸能」

「芸能」

「芸能」

「芸能」

「芸能」

「悲劇喜劇」

昭和四十一年二月・四月・六月

昭和三十五年四月〜六月

昭和三十七年一月〜三月

昭和三十七年一月〜三月

昭和三十七年一月〜三月

昭和三十八年五月

昭和三十八年六月

昭和三十八年八月・九月

昭和三十九年五月

昭和三十九年七月

昭和三十九年九月

昭和四十年十一月

昭和四十年十二月

昭和四十三年二月

（丸山 信 編）

〔藝文研究〕第二十七卷 慶應義塾大学藝文学会 一九六九年三月より再録